

## 議会運営委員会所管事項調査報告書

期 日	平成 30 年 10 月 16 日（火）～17 日（水）
訪問先	兵庫県西脇市
出席者	川口 仁 委員長、渡辺 貞雄 副委員長、山本 智子 委員、 釘丸 久子 委員、寺岡 まゆみ 委員、田口 孝男 委員、 越智 一久 委員、松田 則康 委員、石井 芳隆 委員
随行者	若林係長
調査項目	議会改革の取り組みについて
調査内容	<p>平成 24 年 12 月に西脇市議会基本条例を制定。条例に基づき毎年検証を行い、課題を整理し、改善を加えている。</p> <p>定例会終了翌日に反省会を実施し、委員会での議論のあり方、一般質問の仕方、議長の議事運営についてなど議員間討議をし、議会機能の強化につなげている。</p> <p>また、年 4 回の定例会を単発のものとはせず、年間の議会運営を一体的なものと考え、休会中に議会報告会、政策検討会、視察調査などを組み合わせた政策形成サイクルに基づく議会運営に取り組んでいる。</p> <p>このほか、住民と情報交換を行う課題懇談会の取り組みや、主権者教育の一環として、高校生版議会報告会を平成 29 年度から実施している。議会報告会や高校生版議会報告会は、参加者の意見を集約し、現状や対応状況、現地確認等を行い、改善が必要であると判断した事案については所管の常任委員会で協議し、事務事業評価対象事業と位置づけ、その妥当性や必要性の評価や執行機関への提言を行っている。課題懇談会は、報告書作成後、議会運営委員会で協議し、必要と認められた場合は執行部へ申し入れを行うなど市民起点の政策サイクルの実現を目指している。</p> <p>なお、本会議及び委員会へは、パソコン及びタブレット等の持ち込みを可能とするとともに、iPad の貸与、議場を含む室内全て Wi-Fi 環境を整備するなど、ペーパーレス化を推進している。</p>
主な質疑	<p>Q 議会終了後の定例反省会は、どのように行っているのか。</p> <p>A インターネット中継し、議事録も残している。一般質問のほか委員会も対象としており、政策に結びつかないような質問の仕方に対して議員個人に向けた厳しい意見も出るが、質の向上につながっている。</p> <p>Q 議会報告会から出た意見で政策に結び付いた事例はどのようなものがあるのか。</p> <p>A 公共交通の事例では、高齢者の運転免許返上の増加に伴い、新たな交通手段としてコミュニティバスの運行を提案した事例などがある。現状と課題を分析し、現地調査を行った上で、提案するようにしている。</p>